

■KGI（重要目標達成指標）

ゴール	KGI	目標	中間改定での対応		2021 (実績)	2025 (実績)	2030 (目標)	備考
安全・安心 （上下水道施設の適切な資産管理）	水道の老朽管の残存率（％）	現状の0%を維持	継続	当初 改定	0 －	0 －	0 －	
	下水道の劣化管の残存率（％）	すべて適切に措置されている	継続	当初 改定	0 －	0 －	0 －	
	累積利益（水道事業）（億円）	黒字の確保	継続	当初 改定	74 －	0※ －	黒字 －	※ 令和7年度決算時点での収支見通しにおける令和12年度の値
	累積資金（水道事業）（億円）	黒字の確保	変更	当初 改定	128 －	－ 106※	黒字 50	※ 令和7年度決算時点での収支見通しにおける令和12年度の値 黒字を確保→50億円を確保
安定・持続 （持続可能な経営）	累積利益（下水道事業）（億円）	黒字の確保	継続	当初 改定	3 －	※1・※2 －	黒字 －	※1 令和7年度決算時点での収支見通しにおける令和12年度の値 ※2 計画期間中に純損益の赤字が生じる見通しであることを踏まえ、今後の利益処分の方針について検討中
	累積資金（下水道事業）（億円）	黒字の確保	変更	当初 改定	39 －	－ 67※	黒字 60	※ 令和7年度決算時点での収支見通しにおける令和12年度の値 黒字を確保→60億円を確保
	コールセンターへの問合せ件数（件）	2割以上削減（2021年度比）	継続	当初 改定	102,977 －	97,838 －	82,000 －	

■KPI（重要業績評価指標）

施策名	KPI	算式	中間改定での対応		2021 (実績)	2025 (実績)	2030 (目標)	備考
政策01 市民の健康と快適な暮らしの確保								
良質な水道水質の維持	水質基準適合率（％）	水質基準適合件数／水質検査実施件数	継続	当初 改定	100 －	100 －	100 －	
	放流水質基準達成率（％）	水質基準達成回数／水質検査回数	継続	当初 改定	100 －	100 －	100 －	
	未水洗汚水量（千㎡）	未水洗建物等における汚水量の合計	廃止	当初 改定	5,410 －	5,099 －	4,729 －	下記指標に変更
	未水洗汚水量（千㎡）	浄化増及び汲み取り方式から切替による汚水量	変更	当初 改定	－ －	－ 4,187	－ 3,469	浄化槽及び汲み取り方式からの切替えに着目し、上記指標から算定方式を見直し
戦略的な上下水道施設の管理	水道管路の耐震化率（％）	耐震化済管路延長／水道管路総延長	変更	当初 改定	30.3 －	34.9 －	39.2 40.2	後期4か年の配水支管更新量増加を踏まえて設定
	有効率（％）	（有収水量＋有効水量）／年間配水量	変更	当初 改定	94.0※1 －	－ 93.3	※2 95.0	※1 2018-2021年度平均 ※2 計画期間前半の実績を踏まえて設定
	下水道管きょの計画的調査率（％）	累計調査延長／調査予定延長	廃止	当初 改定	84.8※ －	34.3 －	100 －	※経営戦略策定当初に実施する管きょ調査は、2023年度に完了したため、2024年度から新たな指標で調査を開始（PIIに変更）
	下水道の重点路線における健全性確保率（％）	健全性を確保した管きょ延長／重点路線延長	新設	当初 改定	－ －	－ 74.9	－ 100	全国特別重点調査の対象管路の健全性確保率
	下水道の重要管路における健全性調査率（％）	累計調査延長／調査予定延長	新設	当初 改定	－ －	－ 0	－ 100	重要路線の調査予定延長320km（80km/年×4年間） 80km/年は暫定値
施策名	KPI	算式	中間改定での対応	当初/改定	2021 (実績)	2025 (実績)	2030 (目標)	備考
政策02 防災時の飲料水と衛生環境の確保								
発災時における上下水道機能の確保	優先耐震化路線の耐震化率（％）	耐震化済管路延長／優先耐震化路線延長	完了	当初 改定	92.3 －	100.0 －	100.0 －	2025年度に目標達成
	配水池の耐震化率（％）	耐震化済／配水池総容量	変更	当初 改定	77.4 －	－ 53.8	88.4 71.0	耐震診断により、耐震性能が不足する配水池が判明したため、目標値を見直し
	重要な管きょの耐震化率（％）	耐震化済管きょ延長／重要な管きょ延長	廃止	当初 改定	97.7 －	－ －	98.3 －	下記指標に変更
	耐震性能を確保した上下水道管路が接続する災害拠点数（施設）	全197施設	新設	当初 改定	－ －	－ 80	－ 127	上下水道事業を一体的に管理・評価できる指標を新設
浸水対策の推進	重点地区の浸水対策実施率（％）	浸水対策済地区数／重点地区数	廃止	当初 改定	85.8 －	30.8 －	69.2 －	下記指標に変更
	重点地区の浸水対策件数（地区）	浸水対策済地区数（全13地区）	変更	当初 改定	－ －	－ 4	－ 9	浸水対策効果が伝わりやすから、上記指標から見直し
上下水道の被災に備えた対策の推進	上下水道機能の応急復旧の短縮（日）	（水道25日・下水道30日の期間の短縮）	継続	当初 改定	水25・下30 －	水25・下30 －	短縮 －	
自助・共助の活動促進	災害に備えて家庭または地域で対策を講じている割合（％）	（市政モニターアンケートによる）	継続	当初 改定	71.0 －	79.0 －	80.0 －	
政策03 安定した経営の実現								
企業力の向上	研究発表等件数（件）	研究発表等件数（累計）	継続	当初 改定	12※1 －	66 －	120※2 －	※1 2019～2021年度平均 ※2 2023～2030の8年間で累計120件をめざす
	時間外勤務総時間数の削減率（％）	時間外勤務総時間数の割合（2019年度比）	継続	当初 改定	△ 13.9 －	△ 21.8 －	△ 20.0 －	
経営基盤の強化	純損益（水道事業）（億円）	－	変更	当初 改定	10 －	30 －	△ 8 △ 22	目標の数値（赤字）は現時点での収支見通しより設定したもの。経営改善の取組等を推進することで、目標の数値より改善させることをめざす。
	単年度資金収支（水道事業）（億円）	－	変更	当初 改定	7 －	42 －	△ 9 △ 40	目標の数値（赤字）は現時点での収支見通しより設定したもの。経営改善の取組等を推進することで、目標の数値より改善させることをめざす。
	純損益（下水道事業）（億円）	－	変更	当初 改定	18 －	13 －	11 △ 11	目標の数値（赤字）は現時点での収支見通しより設定したもの。経営改善の取組等を推進することで、目標の数値より改善させることをめざす。
	単年度資金収支（下水道事業）（億円）	－	変更	当初 改定	△ 6 －	9 －	△ 1 △ 8	目標の数値（赤字）は現時点での収支見通しより設定したもの。経営改善の取組等を推進することで、目標の数値より改善させることをめざす。
政策04 信頼される上下水道へ								
利用者の利便性の向上	「すいりん」の登録率（％）	「すいりん」登録者数／給水契約者数（官公庁、工事等での一時的利用者を除く）	変更	当初 改定	7.2 －	15.0 20.3	20.0 40.0	更なる普及促進に向けて、目標値を上方修正
	来庁による給排水設備申請の減少率（％）	来庁による申請者数／総申請者数	廃止	当初 改定	－ －	－ －	△ 80.0 －	電子申請の普及状況をより直接的に評価するため下記指標へ見直し
	来庁による受付窓口利用者の減少率（％）	受付窓口利用者数の割合（2020年度比）	廃止	当初 改定	△ 23.6 －	△ 40.6 －	△ 80.0 －	窓口利用者の大部分が、給排水設備工事の申請を目的として来庁するため、給排水設備工事の電子申請利用率のKPIに一元化
	給排水設備工事の電子申請利用率（％）	給排水設備工事の電子申請数／全申請数	変更	当初 改定	－ －	－ 80.4	－ 100.0	更なる普及促進に向け電子申請利用率100%の到達時期を2027年度末に見直し、「来庁による受付窓口利用者の減少」の廃止を踏まえ名称を変更
利用者との信頼関係の構築	広報・広聴の満足度（満足していない割合）（％）	（市政モニターアンケートによる）	廃止	当初 改定	5.6 －	－ －	5.0 －	標本母数が少ない等の理由から廃止
	情報到達度（情報を見たことがある割合）（％）	（市政モニターアンケートによる）	変更	当初 改定	－ －	－ 18.4	－ 40.0	標本母数が少ないことに加え、発信した情報が確実に届き、上下水道事業への関心を高めることを重視し、上記指標を見直し
カーボンニュートラルへの貢献	温室効果ガス排出量の削減率（％）	温室効果ガス排出量の割合（2013年度比）	継続	当初 改定	△ 34.2 －	△61.6 －	△ 50.0 －	